

2007.5.11

媒体名

Japan Medicine

()

掲載日

2007/5/11

掲載面

面・頁

待ち時間短縮 「説明不足」も映像でサポート

アイチケットの順番予約システム

アイチケット（吉井浩一社長）はこのほど、診療所を対象とした待ち時間の短縮が可能な順番予約システム「iTICKET plus（アイチケットプラス）」を発売した。

本品では、院内での受け付け機能に加えて、携帯電話・パソコンで待ち人数・待ち時間を確認し、順番を予約することができる。予約者は順番が近づいてから来院すればよいため、院内での待ち時間を短縮することができるメリットがある。

同社が販売する従来品「iTICKET」は導入施設が500を超えている。新製品は、従来品の順番予約機能やオンライン機能に加え

て、映像配信機能を備えているのが特徴。映像配信機能を搭載することによって、注目度の高い院内モニターに診療所からのお知らせや健康情報などを表示することができる。

配信する映像コンテンツは「診察の中で伝えたいが伝えきれないこと」を医師にヒアリング調査して制作される。同社では、サービス開始時に40本以上をそろえ、毎月10本程度の新作を追加・改定を行うという。

また「患者と医師のコミュニケーションに役立つ情報を映像で配信することにより、診察前や会計時などのちょっとした待ち時間も有効に活用できる」としている。

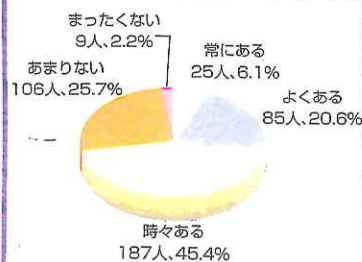
同社の調査によると「診察時間内に医師に尋ねたいことがあったが聞けなかった」経験を持つ患者は

72.1%と高い。一方、医師も「診察時間内に伝えたいことがあったが伝えきれなかった」経験を74.0%が持っている（グラフ）。

本品（スターターズパック）の価格は52万2900円で、月額利用料は1万500円（いずれも税込み）。

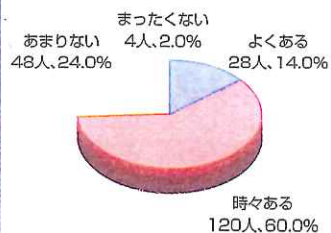
「診察時間内に診断結果や治療法以外で聞きたいことがあったが聞けなかった」

対象：患者/n=412(単一回答)



「診察時間内に診断結果や治療法以外で伝えたいことがあったが伝えきれなかった」

対象：医師/n=200(単一回答)



医師・患者間のコミュニケーション(アイチケット調査)